

河川環境改善事例研究

徳島県 新町川



視察会メンバー

■平成20年5月23日（金）

昼の調査 13：00～16：00

夜の調査 20：30～21：00



新町川について



■新町川の概要

- 新町川は、吉野川の支流で市の中心部を流れる長さ6.9キロ、河口部を除けば幅30～40mほどの河川。
- 新町川と助任川に囲まれた中心街は、その形から「ひょうたん島」と呼ばれている。
- 昭和40年前後までは、流域の工場・家庭からの排水で魚も住めないほどのドブ川と化しており、昭和40年代中頃からの各種の公害規制により少しずつ回復したものの、依然としてたくさんのゴミが浮遊したまま放置されていた。
- その後、魅力ある都市環境の創出と中心市街地の活性化をめざし、河川環境と公園整備の2つの事業を徳島県と徳島市で合同施工することにより平成元年に完成した。

水上と水際で多彩な活動を展開

- 平成2年（1990年）3月に「市民の汚した川は市民の手できれいに再生しよう！」と有志10人で発足し、毎月2回ボートで川の清掃を始めた。
- 平成11年8月にNPO法人として認証された。
- 今では、徳島市のひょうたん島を囲む新町川と助任川の他、田宮川、吉野川の清掃、ひょうたん島周遊船の運航、花植え、植樹活動など、年間を通しての多彩なイベントを行っている。
- 行政からの委託事業として周遊船の運行を行ったり、行政の依頼を受け、環境啓発イベントに取り組むなど、日常的に行政と協力しながら川づくりに取り組んでいる。
- 会員数は個人約300人、法人約20社（年会費/個人3,000円、法人30,000円）
- NPOの活動予算は年間1,500万円程度（吉野川イベントは別）

【活動ポリシー】

- 一人の百歩より百人の一步を！
- できる人が、できる時に、できることを！
- 新町川を中心にした徳島の川全体を、みんなの手できれいにしていこうとする有志の会
- 楽しみながらボランティア活動をする
- 清掃や花植え、植樹、イベントを通じて徳島の川を「チョビットづつ」きれいにする
- 川を活かした魅力的な街づくりを目指す



藍場浜公園の花植え

[公園アドプト・プログラム第1号]



鮮やかな花が楽しめる街中の公園にはたくさんの人々が集います。

年間を通して鮮やかな花々が楽しめるように四季の花植えを行っています。工夫をこらしたアレンジの花壇が自慢です。

イベント

吉野川フェスティバル

毎年、夏の最大のイベントが吉野川グラウンド(南岸河川敷広場)で3日間、様々な催し物を開催しています。コンサート、スポーツイベント、バーベキュー、ビアガーデン、フリーマーケット、吉野川川巡りなど多彩な催しが盛り沢山!期間中を通して打ち上げる花火は恒例になっています。



【リバークルージング活動】

●ひょうたん島周遊船

- ・ 1周、6km、約30分 毎日出航
- ・ 乗船無料、保険代100円のみ

●津田港「とれとれ市」送迎船

- ・ 毎月第2土曜日、9:30出航
- ・ 朝市への送迎

●吉野川クルージング

- ・ 夏季限定、土日不定期便



【クリーンアップ活動】

●新町川、助任川、田宮川の清掃

- ・ 毎月2回、1日と第3土曜日、13：00～15：00
- ・ 清掃作業船で川の浮遊ゴミ、岸辺のゴミを回収
- ・ 自転車やタイヤなどの粗大ゴミも回収している

●吉野川河川敷の清掃

- ・ 毎月1回、第2日曜日、8：00～10：00
- ・ 清掃後朝食会を開催



【リバーサイド修景活動】

●田宮川堤防の緑化活動

新町川にそそぐ田宮川の土手



●藍場浜公園の花植え

公園アダプトプログラム第1号

四季の花植え



●3001年の森の植樹活動

吉野川水源、高知県大川村の山林で

年3回の植樹と下草刈り 現在600本



【イベント】

●吉野川フェスティバル

夏の最大イベント3日間

●とくしま夢あかり

冬のイベント3日間

藍場浜公園

●川からサンタがやってくる

クリスマス 子供向け

●寒中水泳大会

1月 新町川

●水際コンサート

不定期 雅楽演奏会



活動内容の詳細 (※中村英雄氏ヒアリング)

■新町川を守る会の活動について

- 会員は、個人が300人、法人が20程度、商店街は入っていない。
- 市民活動も10年続けないと、市民も関心を持つようになってくれない。
- 吉野川の上流もたびたび訪れて交流活動を行っている。これからは、交流だけでなく、連携が重要になる。
- NP0は、年間1,500程度の予算でやっている（吉野川イベントは別途）。現在、認定NP0の申請中。メンバーには警察官や消防の人もいるので、いろいろ助かっている。
- 吉野川フェスティバルは、3日間で約5万人が訪れる。費用は、2,500万円程度掛かるが、県が500万円程度で、残りは市民に協力してもらっている。イベントは、常設化が重要。

川と戯し、川の魅力を知り、川と遊ぶための2007吉野川フェスティバルを開催いたします。舞台は吉野川ラウンド特設会場を中心に、吉野川下流域一帯、ライブコンサート、ダンス、花火、吉野川めぐりなど、カブからファミリーまで楽しめるイベントが盛りだくさんぜひ足を運び下さい。

7月27日 [金] 10:00-22:00	7月28日 [土] 7:00-22:00	7月29日 [日] 10:00-22:00
20:00 ワイン&ビアガーデン 吉野川物産店・大トリマーケット・大フリーマーケット 22:00 吉野川物産店・大トリマーケット オープニングセレモニー エキサイトングライブ 吉野川大花火大会 毎日踊る・阿波踊り	7:00 吉野川クリーンアップ大作戦 9:00 吉野川橋筋スイミング アドット大集合！交流・交流・交流 救命救急(AED)講習会 さいころゲーム ワイン&ビアガーデン 吉野川物産店・大トリマーケット 大フリーマーケット 建設機械と遊ぼう 降雨体操 ストーンアート教室 カヌー体験教室 エキサイトングライブ 吉野川大花火大会 毎日踊る・阿波踊り	10:00 ワイン&ビアガーデン 12:00 吉野川物産店・大トリマーケット 大フリーマーケット 親子の木工教室 建設機械と遊ぼう 降雨体操 ストーンアート教室 カヌー体験教室 エキサイトングライブ 吉野川大花火大会 毎日踊る・阿波踊り

この他にも、伊予水体験・パネル展(吉野川)・風船スレゼントetc...楽しいイベントがいっぱい！遊びに来てね！

活動内容の詳細（※中村英雄氏ヒアリング）

- 毎月の1日と第三土曜日に河川清掃と毎日曜日に田宮川の土手に整備した花壇の育成を地元町内会と協力して取り組んでいる。
- 新町川と支流助任川とに囲まれたひょうたん型の島を舞台に、平成4年に徳島市が策定した「ひょうたん島 水と緑のネットワーク構想」に基き、市が隔週で始めた遊覧ボートの運行を、「新町川を守る会」が毎週開催することによって市から事業を委託された。
- その後、「新町川を守る会」で中型艇を購入し、現在は、無料で毎日5回運行し、年間約4万人の方々に利用されている。
- 広く一般市民や多自然型川づくりの活動団体との連帯を目的とした取り組みとして、以下の主な事業を行っている。
 1. 毎年夏に吉野川沿岸の市民5万人による河川一斉清掃の実施。
 2. 川を生かした徳島の街づくりの情報誌「ひょうたん島」を随時発行。
 3. 毎年クリスマス期間中、「サンタが川からやって来る」と題して、ひょうたん島を周遊し、地域の子どもたちにプレゼント。
 4. 環境啓発イベント「ラブリバーフェスティバル」として、年始の恒例行事である寒中水泳や魚釣り大会などを実施。
 5. 水際にミニFM放送局を開設し、毎土日にユニークな番組を発信。
 6. 吉野川アドプトプログラム、毎月第2日曜日午前中に清掃。

活動内容の詳細（※中村英雄氏ヒアリング）

■遊覧ボートについて

- 乗船客は、1日100人程度、阿波踊りの時は1,000人/日が利用（4万人/年程度）。利用者の内訳は、県外3割、郡部3割、市内4割程度。普段は、介護の人の利用も多く、市がエレベーターをつくった。
- 船は、NPOで購入したものと市や企業（阿波銀行）から寄贈されたものがある。購入金額は、500～700万円程度。
- 無料の方が行政は応援しやすいため、乗船は、100円の保険料だけ。
- 大勢の人が川を見てくれないときれいにならない。清掃や川での遊びも重要。
- 定員は、14名のものと18名のものがある。
- 大型になると許可が難しい。
- 維持費は、200～300万円/年の燃料代と古い船は100万円程度の補修費がかかるが、人件費は全てボランティアのため掛からない。



その他（※中村英雄氏ヒアリング）

■水質について

- BODは3mg/l程度、工場廃水規制や閘門をつくったことによりきれいになってきた。
- 市内の下水道は、合流式である。
- 両国橋付近で河口から4km程度、海水は、吉野川の14～15km程度まで上がる。

■河川整備事業等について

- 平成元年に護岸ができた。平成15年までに50億円掛けている。現在は、県単事業になったので、進捗が遅くなってしまっている。
- ボードウォークは、商店街の借金+補助金でつくった。管理は、商店街で管理組合をつくって行っている。
- 川がきれいになるとともに、建物も川に向いて建ちだしたので、景観条例を策定している。

